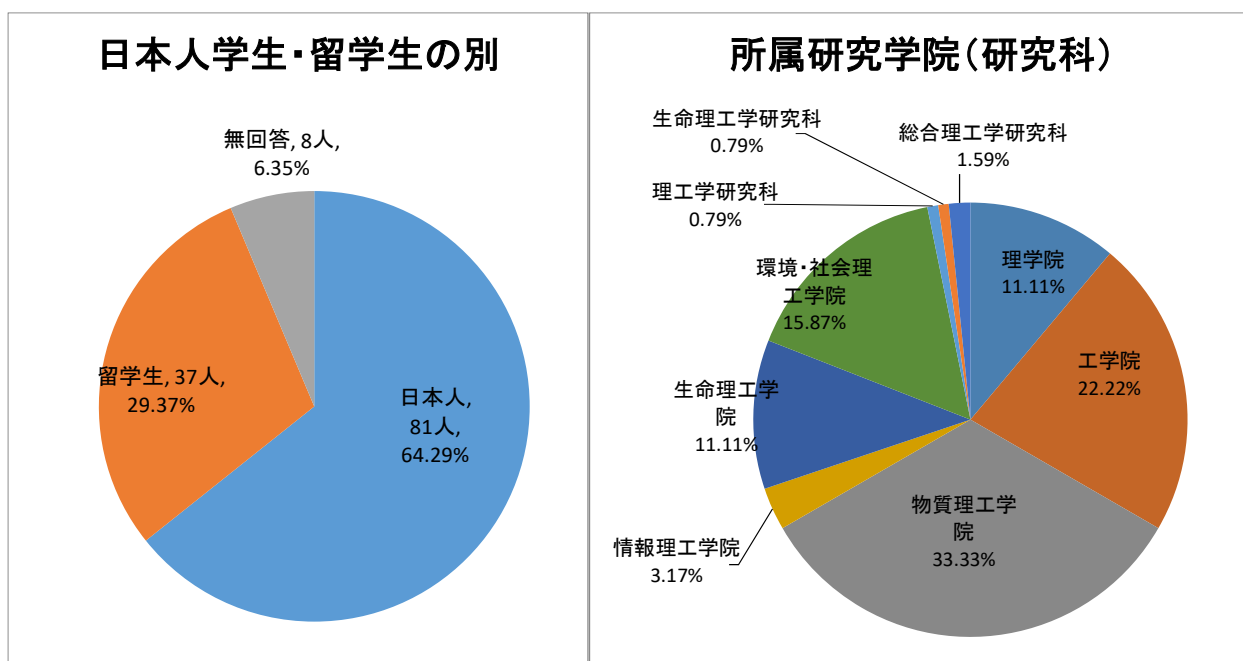


令和元年度 教育改善に関するアンケート〈博士後期課程〉

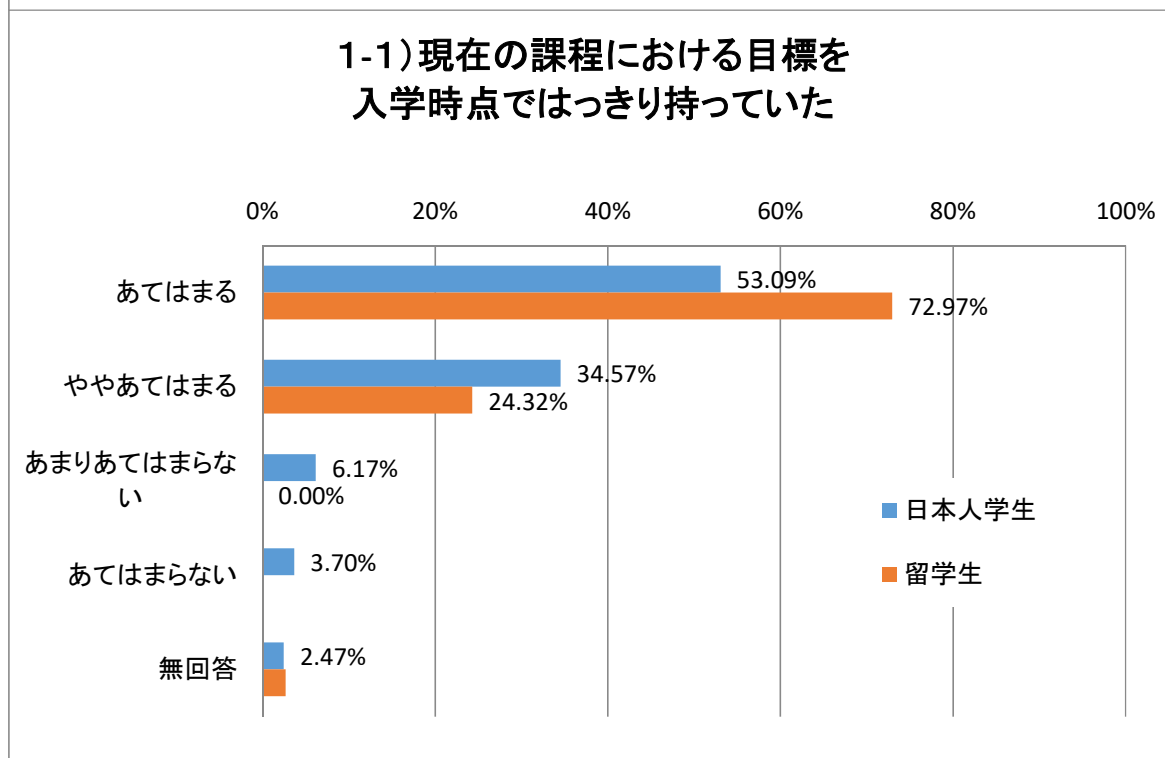
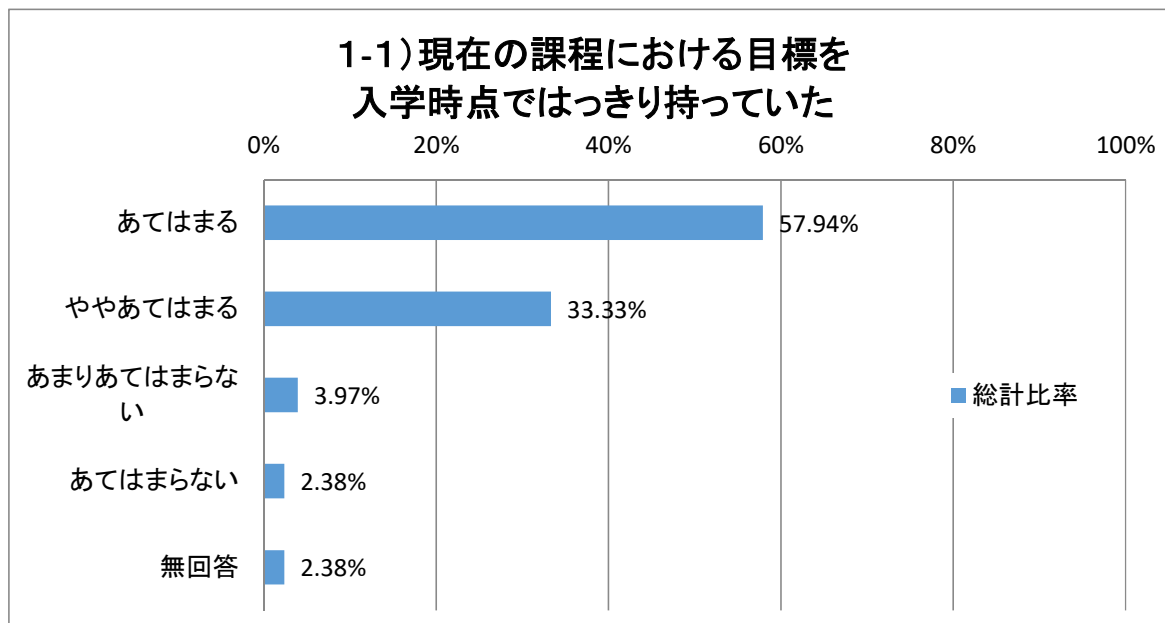
基本統計量



	所属研究学院／研究科	人数	比率
平成28年度以降入学	理学院	14人	11.11%
	工学院	28人	22.22%
	物質理工学院	42人	33.33%
	情報理工学院	4人	3.17%
	生命理工学院	14人	11.11%
	環境・社会理工学院	20人	15.87%
平成27年度以前入学	理工学研究科	1人	0.79%
	生命理工学研究科	1人	0.79%
	情報理工学研究科	0人	0.00%
	社会理工学研究科	0人	0.00%
	総合理工学研究科	2人	1.59%
	イノベーションマネジメント研究科	0人	0.00%
合計		126人	100%

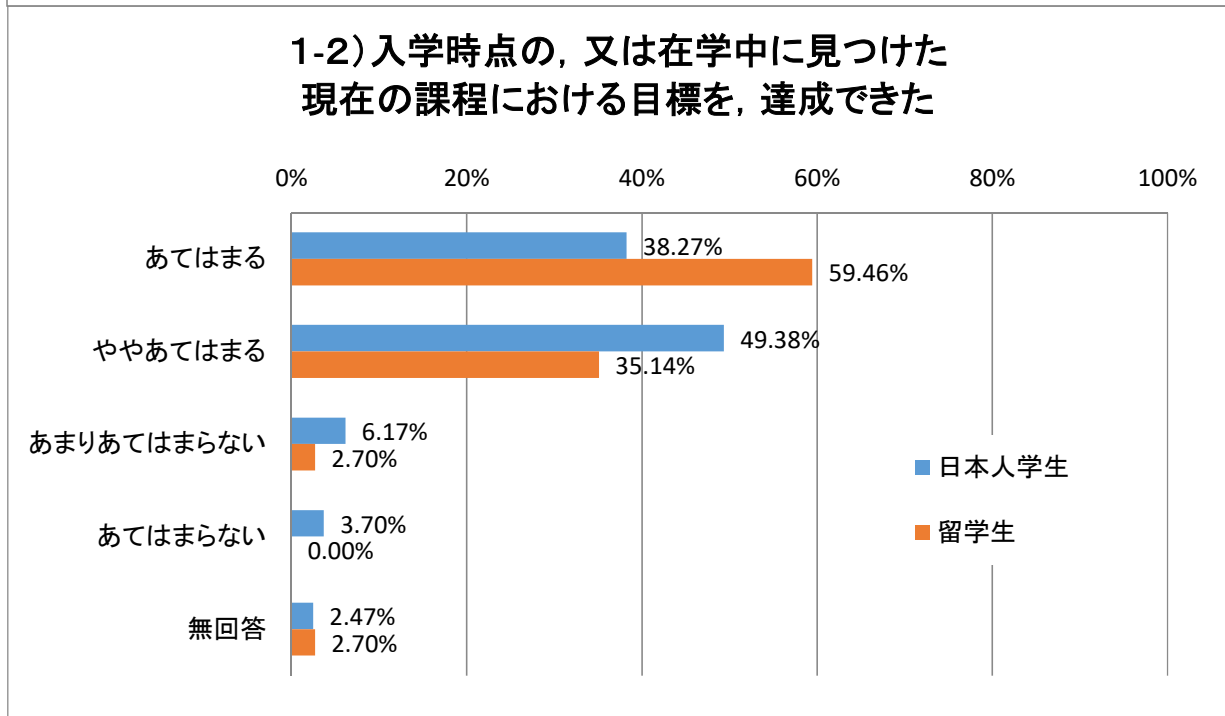
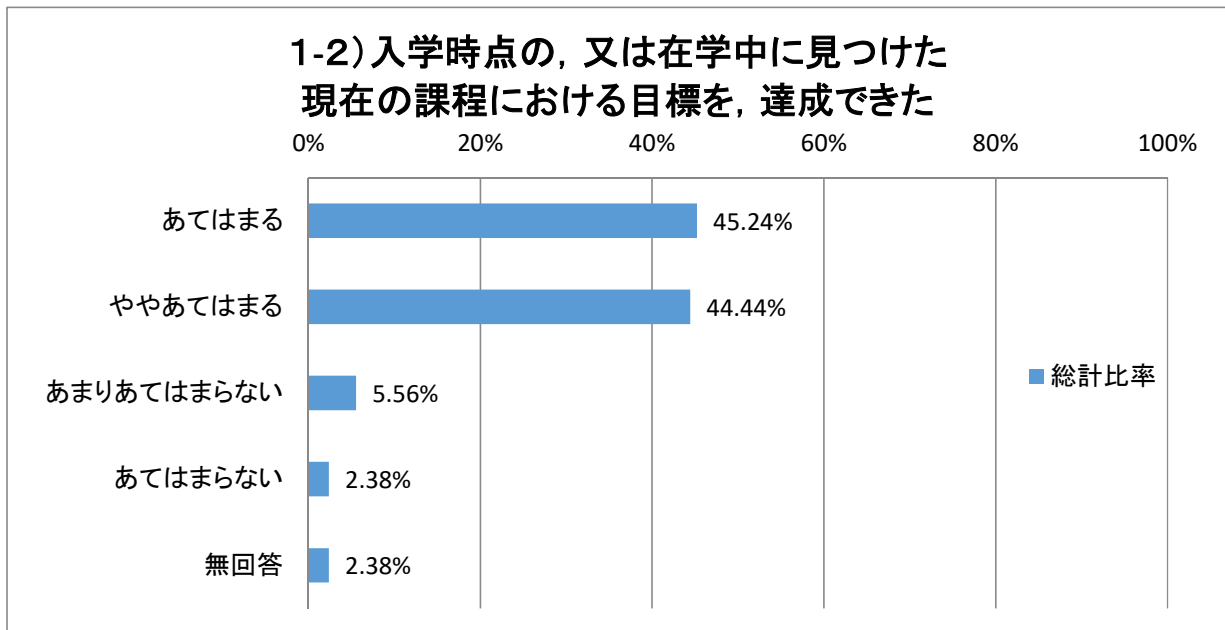
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

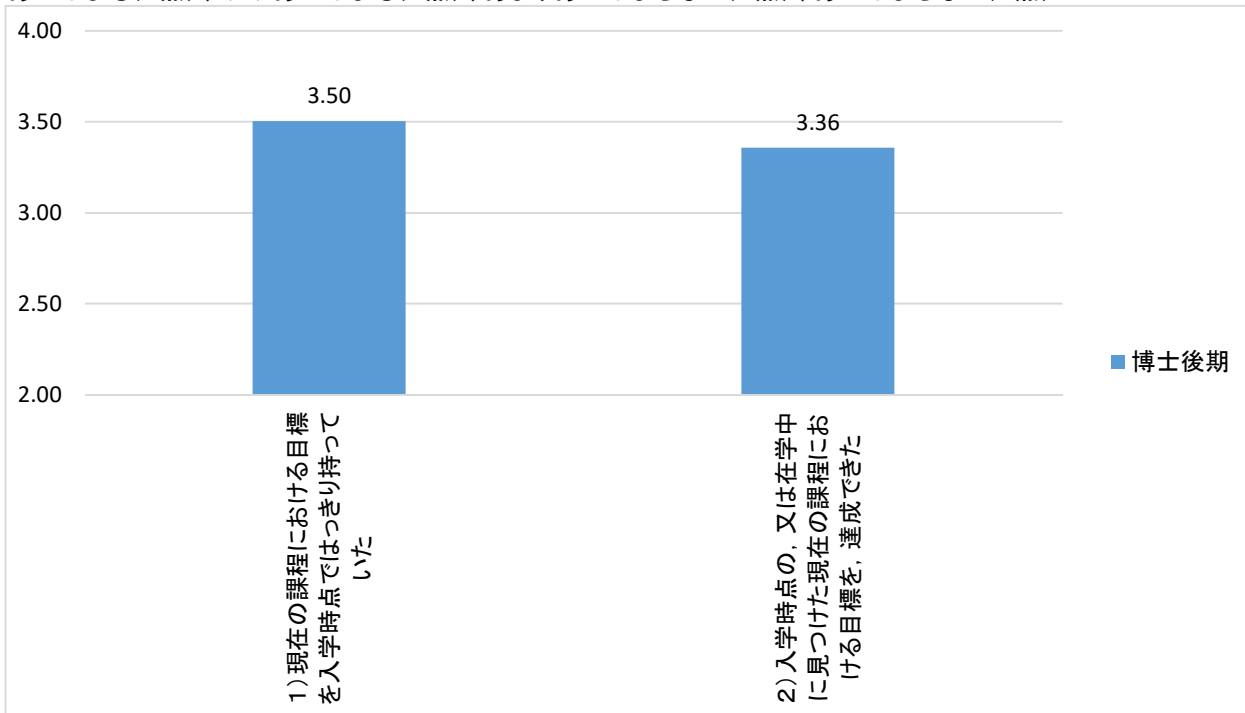
2) 入学時点の, 又は在学中に見つけた現在の課程における目標を, 達成できた



問 1. 課程における目標について

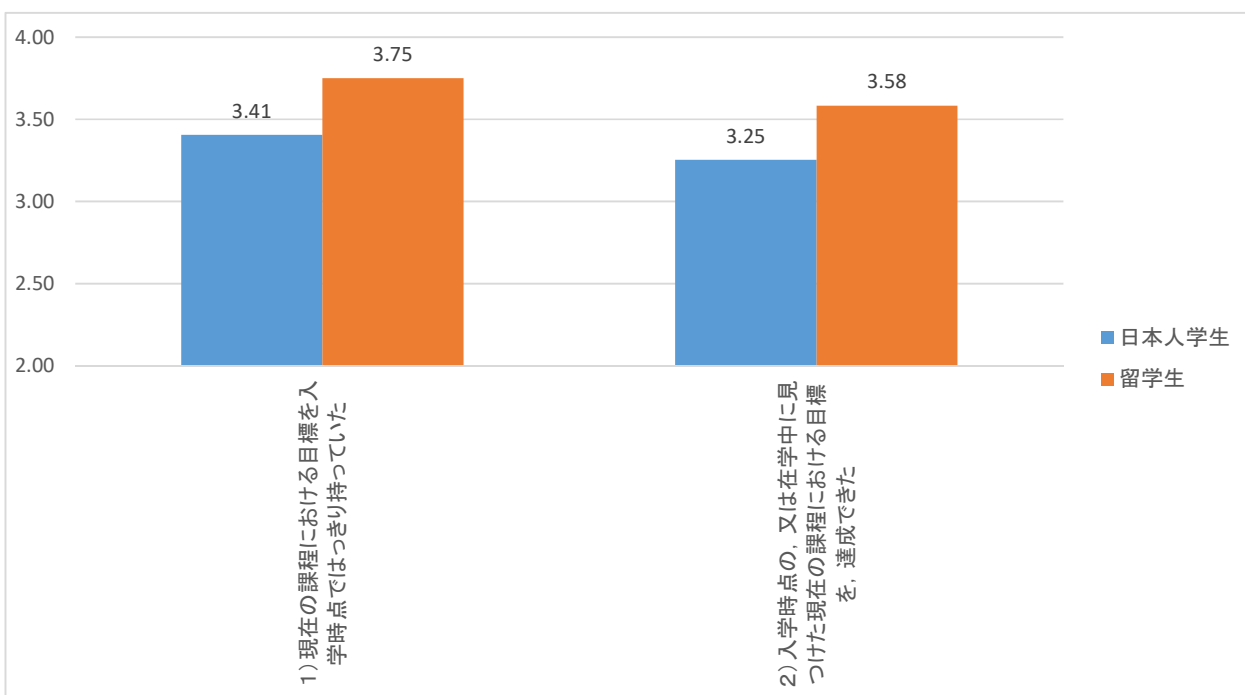
設問	博士後期
1)現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.50
2)入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.36

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



設問	日本人学生	留学生
1)現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.41	3.75
2)入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.25	3.58

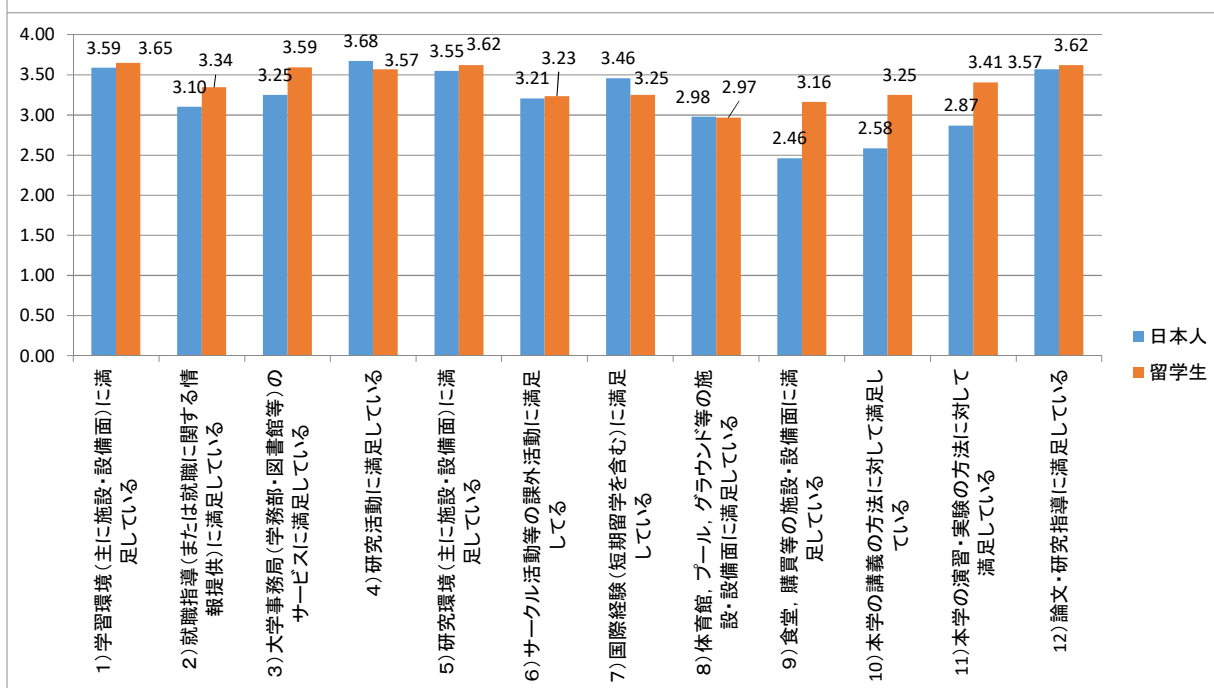
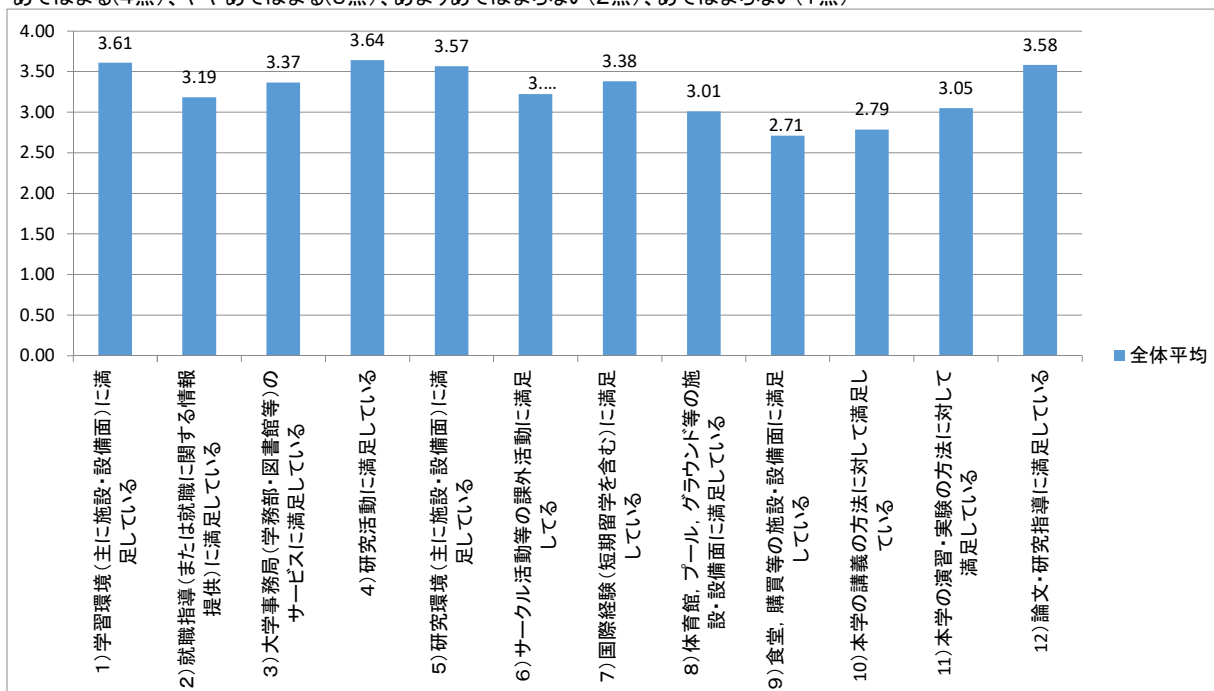
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人	留学生
1)学習環境(主に施設・設備面)に満足している	3.61	3.59	3.65
2)就職指導(または就職に関する情報提供)に満足している	3.19	3.10	3.34
3)大学事務局(学務部・図書館等)のサービスに満足している	3.37	3.25	3.59
4)研究活動に満足している	3.64	3.68	3.57
5)研究環境(主に施設・設備面)に満足している	3.57	3.55	3.62
6)サークル活動等の課外活動に満足している	3.22	3.21	3.23
7)国際経験(短期留学を含む)に満足している	3.38	3.46	3.25
8)体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	3.01	2.98	2.97
9)食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.71	2.46	3.16
10)本学の講義の方法に対して満足している	2.79	2.58	3.25
11)本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.05	2.87	3.41
12)論文・研究指導に満足している	3.58	3.57	3.62

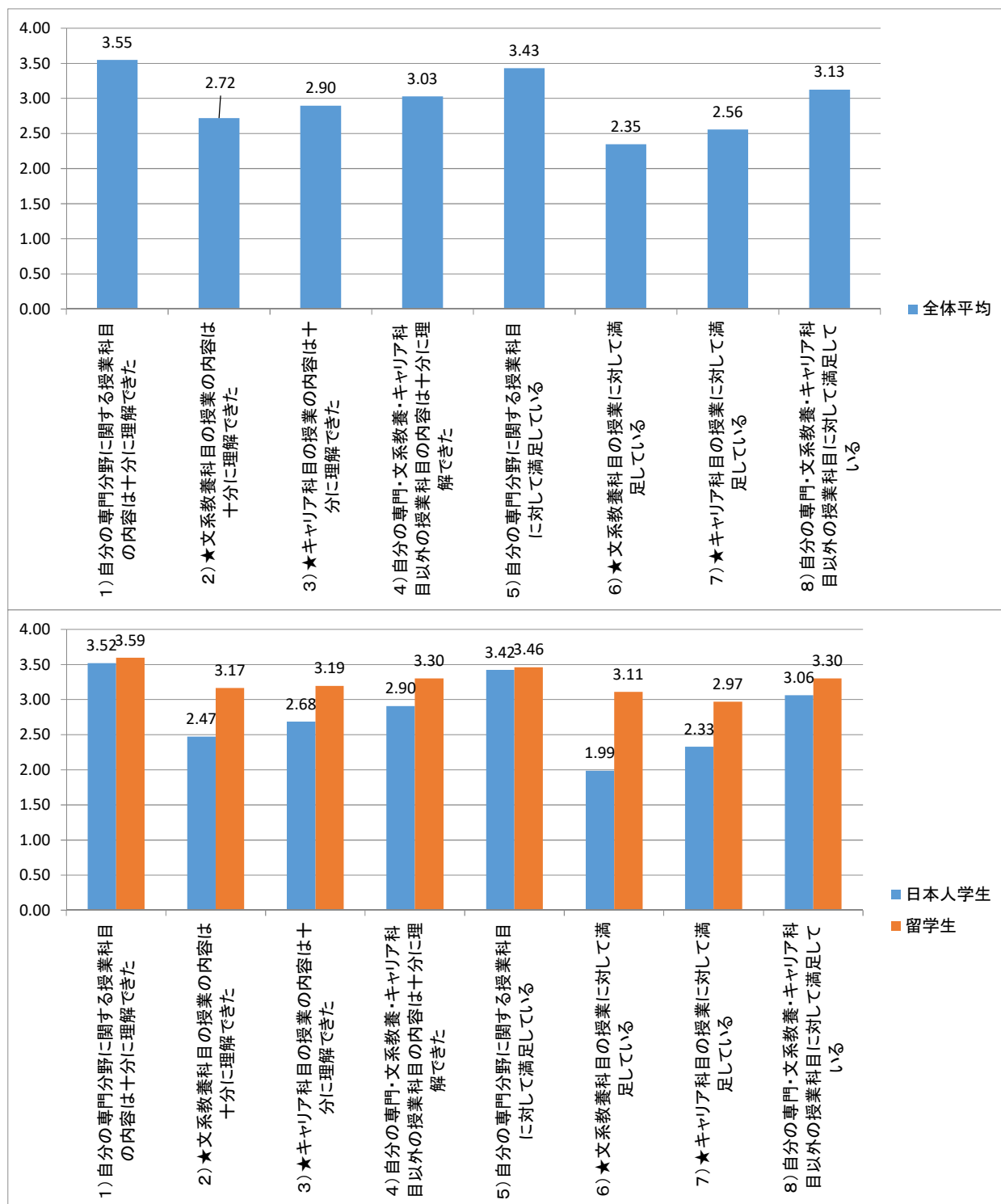
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には9以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.55	3.52	3.59
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	2.72	2.47	3.17
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	2.90	2.68	3.19
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.03	2.90	3.30
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.43	3.42	3.46
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	2.35	1.99	3.11
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	2.56	2.33	2.97
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.13	3.06	3.30

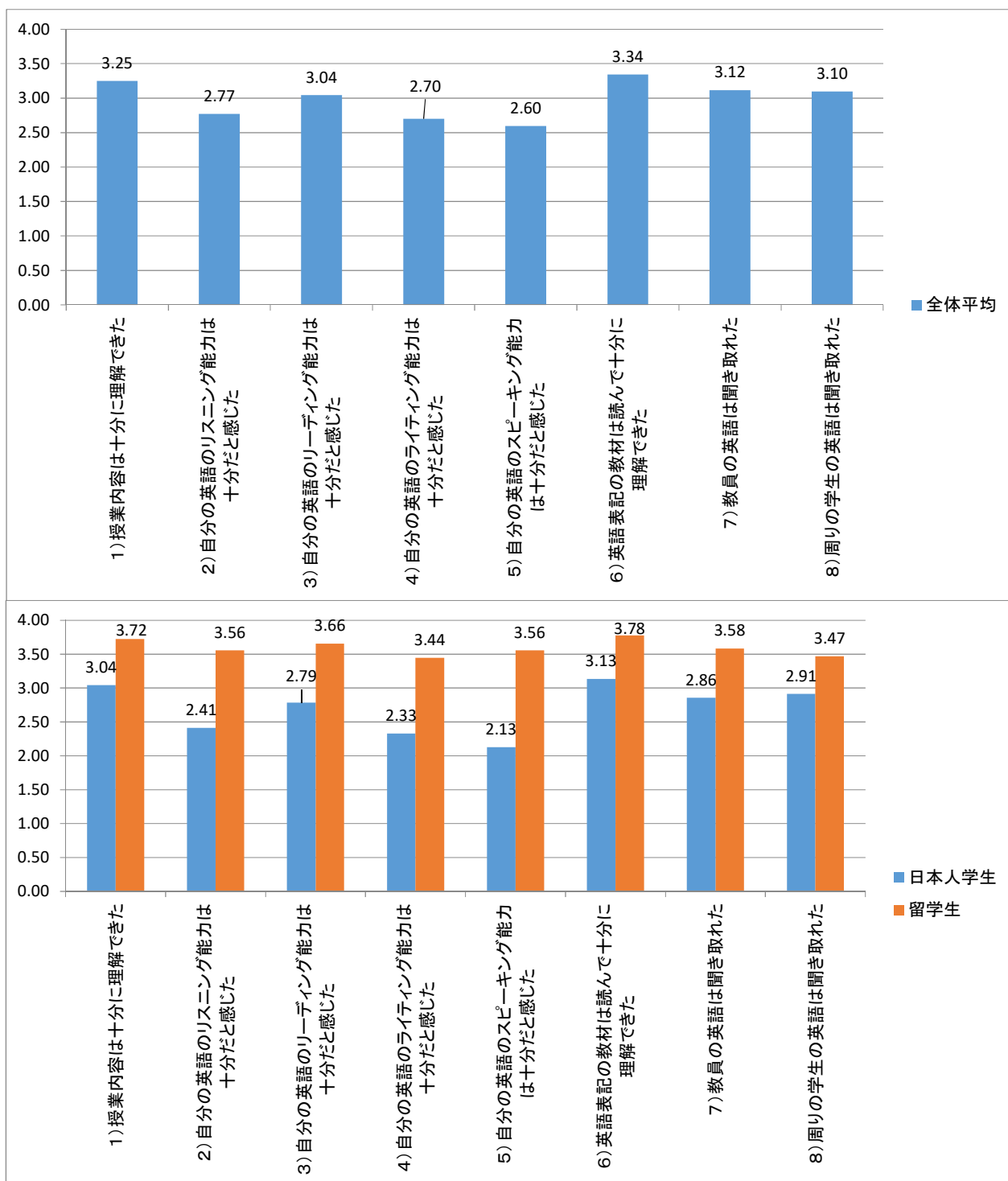
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業科目について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 授業内容は十分に理解できた	3.25	3.04	3.72
2) 自分の英語のリスニング能力は十分だと感じた	2.77	2.41	3.56
3) 自分の英語のリーディング能力は十分だと感じた	3.04	2.79	3.66
4) 自分の英語のライティング能力は十分だと感じた	2.70	2.33	3.44
5) 自分の英語のスピーキング能力は十分だと感じた	2.60	2.13	3.56
6) 英語表記の教材は読んで十分に理解できた	3.34	3.13	3.78
7) 教員の英語は聞き取れた	3.12	2.86	3.58
8) 周りの学生の英語は聞き取れた	3.10	2.91	3.47

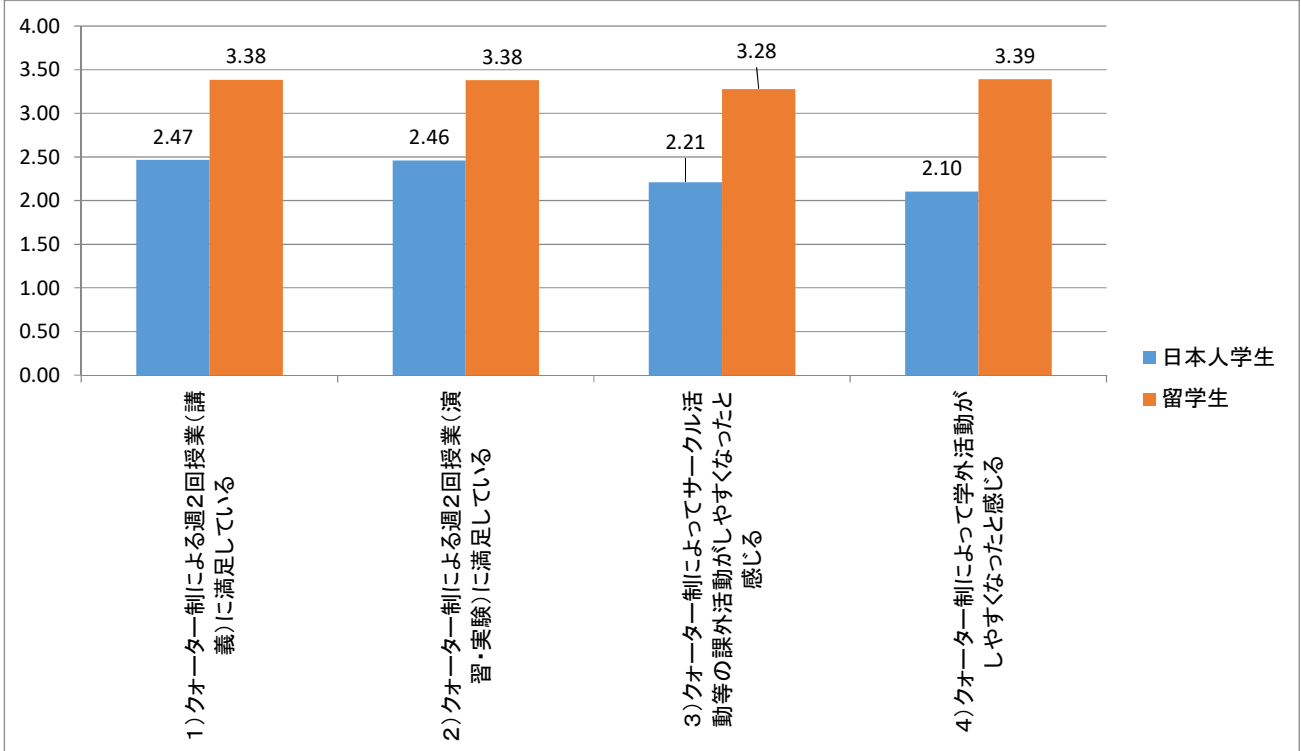
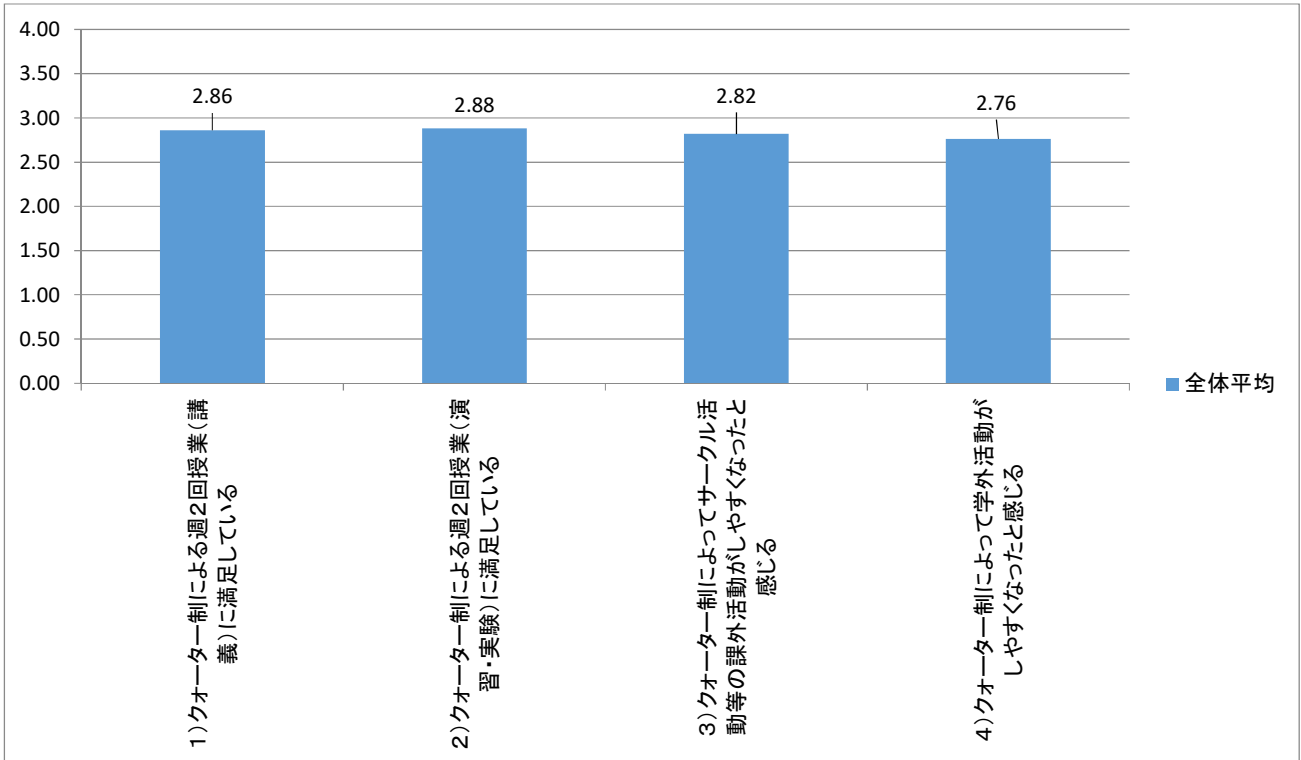
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問5. クォーター制及び学外活動に関して

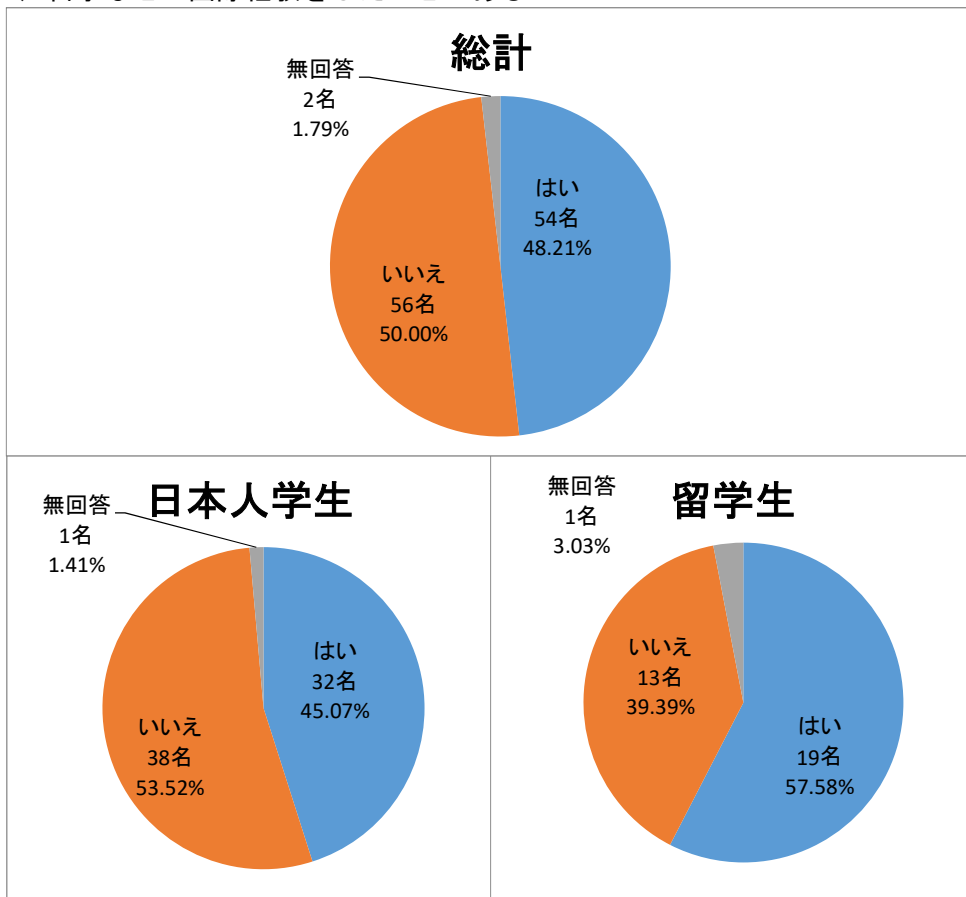
設問	全体平均	日本人学生	留学生
1)クォーター制による週2回授業(講義)に満足している	2.86	2.47	3.38
2)クォーター制による週2回授業(演習・実験)に満足している	2.88	2.46	3.38
3)クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.82	2.21	3.28
4)クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.76	2.10	3.39

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

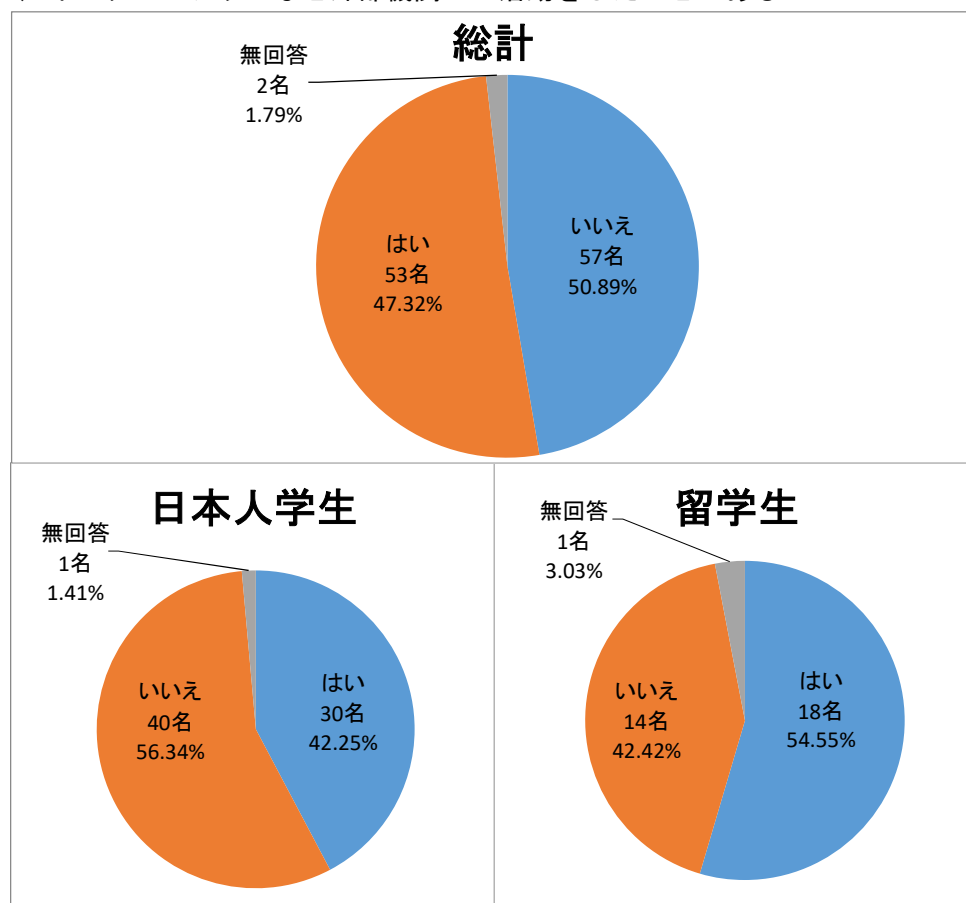




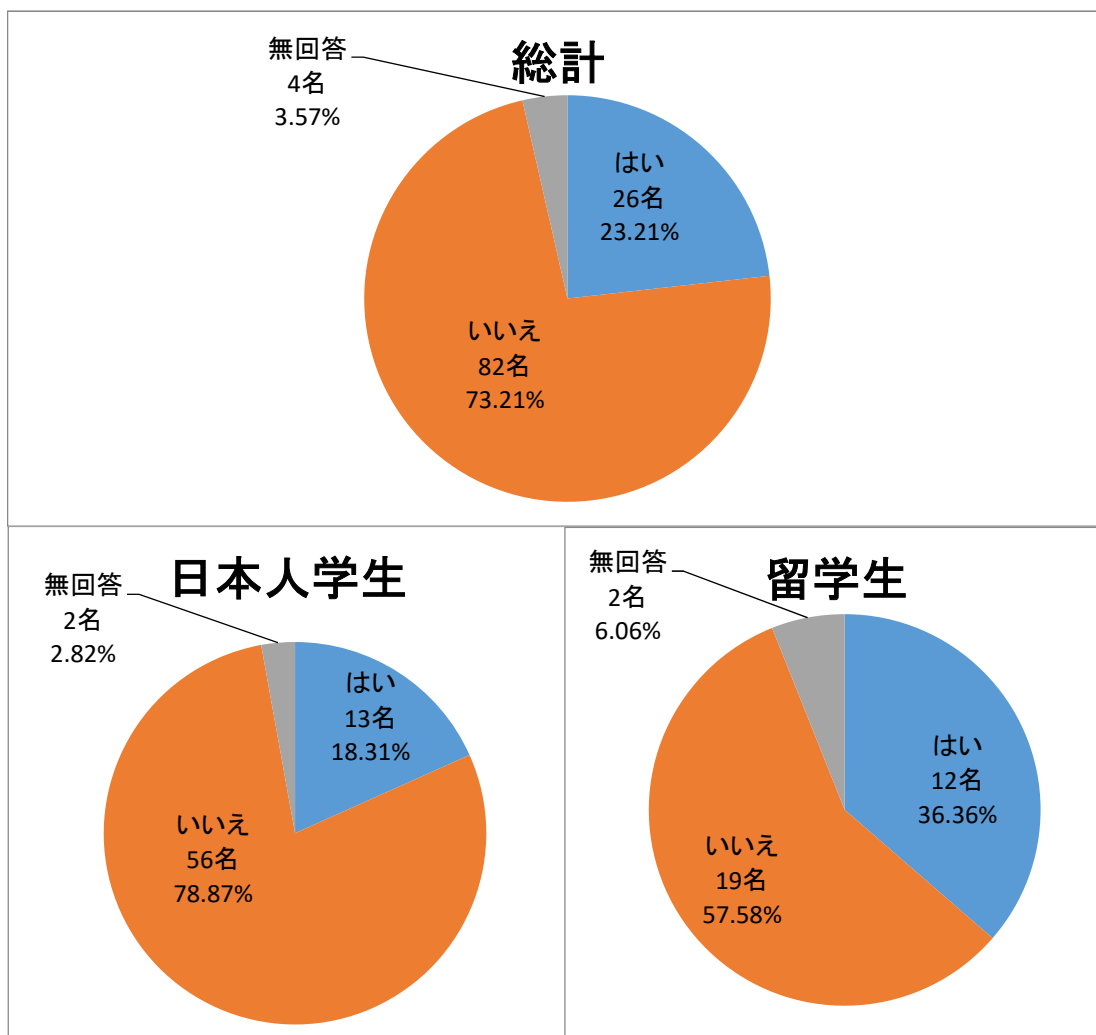
問5. クォーター制及び学外活動に関して  
5) 留学などの国際経験をしたことがある



問5. クォーター制及び学外活動に関して  
6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



問5. クォーター制及び学外活動に関して  
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1)自身の専門分野の概要・研究方法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	3.69	3.66	3.76
2)自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	3.48	3.40	3.65
3)自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.54	3.49	3.68
4)科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.53	3.49	3.65
5)新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	3.62	3.60	3.70
6)新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	3.60	3.62	3.65
7)社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.46	3.38	3.68
8)複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるできるようになった	3.41	3.29	3.62
9)複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.54	3.50	3.61
10)論理的な思考で分析できるようになった	3.62	3.57	3.76
11)科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	3.51	3.46	3.65
12)課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.55	3.47	3.70
13)自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	3.51	3.45	3.68
14)学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	3.76	3.76	3.76
15)グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.37	3.22	3.69
16)自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.46	3.30	3.75
17)外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	3.30	3.18	3.64

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問7. 博士教養科目（「教養先端科目」、「学生プロデュース科目」）を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1)自身の専門分野の概要・研究方法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	2.34	2.03	3.03
2)自身の専門分野と周辺領域の分野との関係性が把握できるようになった	2.44	2.16	3.03
3)科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.68	2.46	3.17
4)新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	2.38	2.12	2.89
5)新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	2.48	2.21	3.06
6)社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	2.61	2.42	3.03
7)複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせることができるようになった	2.86	2.71	3.14
8)複数の視点で事象を整理することができるようになった	2.66	2.43	3.11
9)論理的な思考で分析できるようになった	2.50	2.24	3.09
10)科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	2.34	1.99	3.03
11)課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	2.60	2.37	3.06
12)自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	2.39	2.08	3.03
13)学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	2.34	2.00	3.14
14)グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.79	2.53	3.34
15)自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	2.87	2.64	3.40

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

